

総務部防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況 (平成20年3月31日現在)

分 団 数	団 員 数			定 員
	入 団	退 団	現 員	
28分団	32人	34人	509人	544人

イ 行事

(ア) 6月17日 第3回米子市消防ポンプ操法大会

a ポンプ車操法の部

優勝 成実分団、準優勝 淀江町第1分団、第3位 春日分団

b 小型ポンプ操法の部

優勝 福生東分団、準優勝 車尾分団、第3位 河崎分団

(イ) 7月15日 第53回鳥取県消防ポンプ操法大会

a ポンプ車操法の部 成実分団 第4位、淀江町第1分団 第7位

b 小型ポンプ操法の部 福生東分団 第5位

(ウ) 9月2日 米子市水防訓練

(エ) 11月11日 米子市消防団放水技術競技会

優勝 成実分団 準優勝 五千石分団 第3位 住吉分団

(オ) 11月28日・29日 平成19年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練

(カ) 1月13日 米子市消防出初式

式典、分列行進、一斉放水

(キ) 3月2日 米子市消防団・米子消防署合同消防演習

(ク) 春・秋防火週間における女性消防団員の防火予防広報

ウ 教育訓練

(ア) 米子市主催の消防団員教育訓練

a 5月13日 消防ポンプ操法大会審査員研修、消防ポンプ操法講習会

b 5月13日 新入団員研修会

c 9月23日 機関員実施研修訓練

d 11月11日 米子市消防団規律訓練

(イ) 鳥取県消防学校入校による教育訓練

a 4月14日 消防団員基礎教育 (第53期)

b 4月21日 消防操法科 ()

c 5月12日 女性消防団員教育 (第1期)

d 5月19日・20日 消防団員専科教育消防操法指導科 (第30期)

e 5月24日 市町村消防防災関係職員指導科

f 8月19日 消防団員専科教育機関科 (第41期)

g 10月20日 警防科 (第37期)

- h 11月18日 消防団員基礎教育 (第54期)
- i 12月1日・2日・9日 消防団員特別教育応急手当普及員養成課程
- j 1月19日・20日 消防団員特別教育応急手当指導員養成課程
- k 2月17日 消防団員幹部教育 (第30期)
- l 3月15日 消防団員専科教育消防操法科 ()

工 報酬及び費用弁償

(単位：円)

区分	階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報 酬 年 額		73,400	53,600	44,400	30,400	27,300	22,200	19,500
機 関 員 加 算	自動車機関員報酬年額	13,300						
	可搬機関員報酬年額	7,800						
費 用 弁 償	出場、訓練、警戒等	1回につき			2,700			

オ 表彰 (主なもの)

表 彰 の 種 類	被 表 彰 者		
	所 属	階 級	氏 名
日本消防協会長表彰 (精 績 章)	巖 分 団	分 団 長	池 口 秀 雄
	県 分 団	分 団 長	金 山 勝 憲
日本消防協会長表彰 (勤 続 章)	春 日 分 団	分 団 長	長 門 衛
	成 実 分 団	副 分 団 長	小 坂 俊 裕
	和 田 分 団	副 分 団 長	澤 口 典 夫
	福 生 東 分 団	部 長	本 田 弘 美
	成 実 分 団	部 長	山 根 利 和
	彦 名 分 団	部 長	高 瀬 俊 英
	彦 名 分 団	部 長	橋 明 彦
日本消防協会長表彰 (永年勤続功労者)	本 部	団 長	奥 田 山 治
	加 茂 分 団	分 団 長	田 平 政 己
鳥 取 県 知 事 表 彰 (功 労 章)	県 分 団	分 団 長	金 山 勝 憲
	巖 分 団	分 団 長	池 口 秀 雄
	住 吉 分 団	分 団 長	平 尾 清 明
	春 日 分 団	分 団 長	長 門 衛
	和 田 分 団	副 分 団 長	澤 口 典 夫
	成 実 分 団	副 分 団 長	小 坂 俊 裕
鳥 取 県 知 事 表 彰 (功 績 章)	淀江町第1分団	副 分 団 長	浅 田 正 人
	崎 津 分 団	部 長	瀧 川 俊 介
	成 実 分 団	部 長	斎 木 忠 喜
	夜 見 分 団	部 長	門 脇 一 成
	春 日 分 団	部 長	遠 崎 裕 治
	明 道 分 団	部 長	大 櫃 聖 蔵
	大 篠 津 分 団	部 長	岸 守
	福 生 東 分 団	班 長	影 谷 悟
大 篠 津 分 団	班 長	本 池 信 義	

表彰の種類	被表彰者		
	所属	階級	氏名
鳥取県知事表彰(功績章)	県分団	班長	福島公明
	五千石分団	班長	福田浩志
	春日分団	班長	香取富男
	五千石分団	団員	深田英二
鳥取県消防協会長表彰(功績章)	就将分団	副分団長	福田昭久
	福生西分団	部長	長谷川聖峰
	大篠津分団	班長	本池信義
	福生東分団	班長	影谷悟
	巖分団	班長	前田学
	巖分団	班長	山尾孝範
	福生東分団	班長	結城佐登志
	和田分団	班長	矢倉清
	福米西分団	班長	大上透
	彦名分団	班長	畑中伸一
	彦名分団	班長	河場達雄
	彦名分団	班長	畑中久和
鳥取県消防協会長表彰(勤続章)	崎津分団	班長	福井秀人
	崎津分団	班長	長谷川俊一
	福米西分団	班長	坂田浩一
	大篠津分団	班長	本池令介
	和田分団	班長	森脇俊介
	崎津分団	班長	福井雄治
	崎津分団	班長	吉岡利治
	富益分団	団員	角勝司
	福米東分団	団員	潮健一
	大高分団	団員	渡辺晃彦
	崎津分団	団員	石橋明広
崎津分団	団員	石橋浩一	

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修及び防火水槽の設置を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓改修

(ウ) 耐震性貯水槽(60立米級)の設置...米子消防署(米子市富士見町)敷地内

イ 消防車両等整備

米子市消防団に配備している小型動力ポンプ付積載車のうち、老朽化の著しい2台について更新を行った。

(ア) 更新車両

米子市消防団福生東分団及び加茂分団に配備されている車両。

(イ) 規格 車両型式 TC - TRY 220

小型動力ポンプ B - 2級

2 防災関係

(1) 米子市防災訓練

鳥取県西部地震の風化防止、災害時における災害応急対策の的確・迅速な遂行のための防災体制の確立及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、鳥取県西部地震が発災した10月に住民参加型訓練の実施した。

ア 開催日時 平成19年10月2日(火)

イ 開催会場 福生西小学校

ウ 参加機関 米子市、鳥取県西部広域行政管理組合消防局、米子市消防団、米子市教育委員会、米子市自治連合会、米子警察署、ひばり保育園

エ 参加者数 約500人

オ 実施内容 広報訓練、避難訓練、初期消火訓練、救出・負傷者搬送訓練、消火及び救出救護訓練、炊出訓練、情報伝達訓練、各種防災機材の展示・体験

(2) 防災行政用無線

保守点検を実施した。

業 務 委 託 料	7,605,150円		
委 託 業 者	電気興業株式会社中四国支店、株式会社タイヨー通信		
点 検 概 要	同 報 系	親 局	2局
		遠 隔 制 御 装 置	33台
		屋 外 拡 声 子 局	255局
		地 震 津 波 職 員 参 集 装 置	1式
	移 動 系	基 地 局	2局
		遠 隔 制 御 装 置	10台
		携 帯 型 無 線 機	26台
		車 載 型 無 線 機	31台

(3) 自主防災組織の育成

地域住民が、それぞれの立場、役割に応じて、隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うための自主防災組織の育成に努めた。

平成19年度には新たに7団体が結成され、また旧淀江町地区内においては既設の自主防災組織8団体が、合併後の新米子市の自主防災組織として継続登録され、米子市全体で135組織となった。

ア 平成19年度 新規結成組織 (米子市自主防災組織結成補助金を交付した団体)

(ア) 名 称 加茂三区自治会防犯・防災会、河崎芝谷防災会、河崎浜橋防災会、河崎グリーンハイツ防災会、崎津6区防災会、和田1区防災会、大袋自警消防団

(イ) 世 帯 数 754世帯

(ウ) 助成金の額 353,600円

イ 平成19年度 自主防災組織育成補助金 交付実績

(ア) 交付件数 44件 (防災訓練・講習会等 18件、防災資機材等整備 26件)

(イ) 交付団体数 36団体

(ウ) 交付合計額 1,041,000円

ウ 平成19年度 コミュニティ事業 ((財)自治総合センター補助)

- ア) 交付件数 2件
- イ) 交付団体 2団体
- ウ) 交付合計額 1,900,000円

(4) 米子消防署整備事業の実施

旧米子消防署庁舎は、昭和42年建築以来39年を経過し、庁舎及び施設の老朽化が進み耐震構造上も危険な状態であったため、火災・救急・救助及び地震等の大規模災害時における消防活動の拠点施設としての役割を十分発揮できるように、平成15年度から当初4ヵ年計画で米子消防署整備事業を実施し、工期延長による工事の一部（繰越）を19年度に実施して事業を完了した。

また、平成19年4月2日に米子消防署新庁舎開署式を挙行し、新庁舎における業務を開始した。

ア 事業区域 米子市富士見町一丁目103-1他12筆

イ 事業面積 2,473.31㎡ (新規取得1,334.89㎡)

ウ 事業経過 平成15、16年度 拡幅用地の用地取得及び移転補償の完了。

平成17年度 米子消防署改築工事に伴う地質調査及び基本実施設計業務、仮設庁舎建設工事の実施。

平成18年度 米子消防署改築工事の実施。電気設備工事及び機械設備工事については工事を完了したが、建築主体工事及び仮設庁舎解体工事については、工事の一部を19年度に繰越した。

平成19年度 建築主体工事及び仮設庁舎解体工事の一部（繰越分）を実施し、完成。

工 事業費 1,015,802,757円

(本工事費	636,300,000円
仮設庁舎費	10,125,150円
用地費	339,681,507円
設計委託費	26,670,000円
調査委託費	3,026,100円
合 計	1,015,802,757円)

3 災害関係

- (1) 8月2日から8月3日の台風5号により、以下の被害が発生した。

農作物被害・・・果樹0.5ha

4 災害時における住民等との協力関係

- (1) 相互応援協定関係

平成19年7月23日に、株式会社中海テレビ放送と、「災害緊急放送に関する相互協定」を交わした。

- (2) 「災害等発生時の対応に関する団体等の登録制度」の創設

災害等の発生時における被災者の支援等の応急対応の充実を図るため、災害等発生時に、可能な範囲内で、無償での物的・人的支援について協力いただける団体等をあらかじめ登録する「災害等発生時の対応に協力する団体の登録制度」を創設した。

ア 創設年月日

平成19年8月23日

イ 登録団体 (平成20年3月31日現在)

社会福祉法人、NPO法人など7団体

5 米子市防犯協議会

- (1) 定例総会

10月5日、明道公民館第1研修室で開催した。新役員は、次のとおり。

- 会 長 武 良 賢 治 (米子市自治連合会長)
 副 会 長 佐々木 邦 広 (米子市学校校外指導連絡協議会長)
 " 後 藤 巖 (米子市社会福祉協議会長)
 " 杵 築 俊 朗 (米子市自治連合会副会長)

(2) 防犯灯設置及び防犯灯電灯料への助成

各自治会防犯灯の設置について、蛍光灯による新設 8 1 灯、白熱灯から蛍光灯への切替 1 灯及び器具の取替 9 6 灯に対し助成を行った。また、防犯灯電灯料 (5 0 %) についても助成を行った。

6 交通安全対策関係

(1) 交通安全運動

米子市交通安全運動推進協議会の主唱により、米子地区 2 0 0 7 セーフティー作戦に基づく各種運動を実施した。

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
春の全国交通安全運動	5月11日 ～ 5月20日	交通安全運動推進式 (公会堂前広場) 交差点での安全確認励行作戦 (市内主要交差点) 街頭広報 (えるもーる一番街周辺) 交通マナーアップドライバー広報 (公会堂及び高島屋前周辺) シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報 安来市と合同 (国道 9 号 安来市旧ホリデiland前) 大山町と合同 (国道 9 号 大山町福尾交通観測所前) 違反自転車イエローカード作戦及び反射材広報 (えるもーる、サティ前) 主に高校生を対象に自転車のマナーアップ広報及び指導 シートベルト・チャイルドシート着用推進道路での広報 県道米子広瀬線 (石井) 国道 1 8 1 号 (福市) 皆生街道 (東福原) 交通安全街頭広報 (A コープ淀江店駐車場) 飲酒運転追放広報 (朝日町・角盤町周辺) イエローストップのぼり旗作戦 彦名 (内浜産業道路) 皆生 (国道 4 3 1 号) 保育園児交通安全教室 (彦名保育園)
夏の交通安全県民運動	7月11日 ～ 7月20日	交通安全運動推進式 (公会堂前広場) 交差点での安全確認励行作戦 (市内主要交差点) 街頭広報 (えるもーる一番街周辺) 交通マナーアップドライバー広報 (公会堂及び高島屋周辺) 違反自転車イエローカード作戦及び反射材広報 (えるもーる、サティ前) 交通安全街頭広報 (A コープ淀江店駐車場) 飲酒運転追放広報 (米子駅前周辺) 保育園児交通安全教室 (成実保育園) シートベルト着用率調査 (各地区)

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
秋の全国交通安全運動	9月21日 ～9月30日	交通安全運動推進式（公会堂前広場） 交差点での安全確認励行作戦（市内主要交差点） マナーアップ街頭広報（えるもーる一番街周辺） シートベルト・チャイルドシート着用及びイエローストップ広報 （公会堂及び高島屋周辺） シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報 （国道181号 福市考古資料館前） 交通安全ふれあい大会（ふれあいの里） 大会開催を通じ、交通安全運動の和を広げ安全意識の高揚を図る 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） ピカピカセーフティウォーク（市役所～公会堂） 参加者が反射材を身に付けて市街地をパレードし、着用を呼び掛け 違反自転車イエローカード作戦及び反射材広報（えるもーる・サティ前） 保育園児交通安全教室（福米保育園）
年末の交通安全県民運動	12月13日 ～12月22日	交通安全運動推進式（文化ホール） 交差点での安全確認励行作戦（市内主要交差点） 街頭広報（米子駅前周辺） シートベルト・チャイルドシート着用及びイエローストップ広報（米子駅前周辺） 自転車イエローカード作戦及び反射材広報（えるもーる・サティ前） ピカピカセーフティウォーク（市役所～米子駅前） 飲酒運転追放広報（米子駅前周辺） 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） 保育園児交通安全教室（富益保育園）

(2) 交通安全活動の推進

ア 米子市交通安全指導員の委嘱と活動推進

ア 人数 78人（平成20年3月31日現在）

イ 登校時における児童・園児の通行の保護、誘導。交通安全運動（年4回）の推進。
がいな祭、皆生トライアスロン大会等での交通安全確保の協力。

イ 米子市交通安全えがおの会の活動推進

市内27地区のえがおの会の活動を助成。交通安全運動（年4回）の推進。女性ドライバー安全運転学校、マイカー点検教室などに参加。機関紙「ふれあい」の発行。

(3) 交通安全教育の推進

ア 交通安全作文の募集

市内の小・中学生を対象に、交通安全に関する作文を募集した。

応募者数 290人（小学生 56人、中学生 234人）

入選者18人を表彰した。

環境美化・交通安全作文集を作成し、小・中学校、関係者に配布した。

7 交通災害共済関係

(1) 加入状況

区 分	加入人数 (人)	加入口数 (口)
一 般 受 付	2,787	4,731
団 体 受 付	10,679	11,687
計	13,466	16,418

(2) 給付状況

区 分	事故件数 (人)	給付金額 (円)
死 亡	0	0
療 養	54	3,338,000
計	54	3,338,000